文書質問

議員は、通年議会を活用し、休会中(定例会議を開催しない月)でも町政に関して、町長などに文書による質問ができます。
今号では令和６年２月に提出のあった質問事項を掲載しています。

質問の全文と回答は、町のホームページへアクセスするか、次のＱＲコードを読み取ると見ることができます。

我孫子（あびこ） 洋昌（ひろまさ） 議員

【質問事項】行政改革大綱を推進する際の町民との意識共有について

（質問要旨）

健全で持続可能な財政基盤の確立を目的として、公共施設の開館日の減少、開館時間の短縮等の方針が掲載されている。事業実施・施設整備前の計画について客観的な総括・評価等を町民に示し、改革の必要性を理解してもらうべきではないか。

（回答要旨）

行政改革大綱に基づく計画や取り組みは、下川町総合計画に位置付けていることから、引き続き行政評価において、役場内部の評価と下川町総合計画審議会における外部評価を実施し、改革の必要性の理解と取り組みを推進してまいります。

下川中学校３年生、下川小学校６年生が議場に来て発表・提言を行いました

発表する下川中学校生徒

議員席につき説明を聞く生徒

令和５年12月21日に下川中学校３年生が総合的な学習の時間で学んだことを町づくり提言として議場で発表しました。また令和６年２月26日には下川小学校の６年生が、「下川を住みやすくし隊」の発表を行いました。

それぞれの発表・提言に対して町長、教育長、議長が講評を行いました。大人でも緊張する議場で、発表する児童・生徒の姿はとても堂々として立派でした。関係した方々も一緒に発表を聞き、大変貴重な時間となりました。

講評する田村町長

発表を待つ、下川小学校児童